

えどがわエコセンター
第20回 通常総会開催

令和5年5月27日(土)、第20回通常総会が開催されました。

各事業に関する実績の報告や、定款の変更、新たな役員を選任など、多岐にわたる議案が審議されました。会員の皆様のご協力のもと、予定された議案は原案通りすべて承認されました。また、総会終了後は4年ぶりに懇親会を開催し、退任される役員に感謝状を贈呈しました。

えどがわエコセンターは、より良い環境づくりに向けて事業運営を行ってまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。



環境フェア 2023

完全実施

令和5年6月4日(日)、区民団体や企業、学校の協力のもと、環境フェア2023を実施しました。4年ぶりにリサイクルマーケットや屋内のブースの出演も再開され、多くの家族連れらで賑わいました。

今年は「気候変動にソナエル～こんなミライ、あなたならどうする?～」をサブテーマに、多くの方に参加型のブースで楽しく環境について学んでいただきました。



令和5年度 エコアクション講座 ～今後の予定～

9/16(土) 講演会 異常気象と防災



10/21(土) 講演会 考えよう・減らそう食品ロス
—SDGsと食品ロス—



11/25(土) 体験会 葛西海浜・臨海公園 魅力発見・探検ツアー



12/9(土) 講演会 脱炭素社会の実現に向けたエネルギーの活用
～私たちができることは?～

2月上旬頃 体験会 船上観察会 ラムサール条約登録湿地を見に行こう!

詳細についてはHPなどでお知らせします。みなさんのご参加をお待ちしております!

えどがわエコセンターのイベントや事業は新型コロナウイルス感染症対策のもとで行います。掲載内容は変更になる場合がございますのでご了承ください。

寄付のお願い



皆さまからのご寄付は持続可能な地域社会づくりに貢献する取り組みに活用いたします。

認定NPO法人 共育・協働の環境づくり

編集・発行 **えどがわエコセンター**

住所: 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階

TEL: 03-5659-1651 FAX: 03-5659-1677

E-mail: edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

URL: https://edogawa-ecocenter.jp/

Facebook: https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter

開館時間: 9:00 ~ 17:30 定休日: 日曜・祝日



※機種によっては読み取りづらい場合があります



エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.60

September 2023

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel(情報を送る) 2004年7月創刊

今知りたい! ムジナモとは?

水草なの?

花は咲くの?

どこで見られるの?



2023年のNHK連続テレビ小説で話題となっている、牧野富太郎博士が発見したムジナモ。じつは江戸川区がゆかりの地って知ってましたか? 今回はムジナモについてご紹介します!



江戸川区とムジナモ



発見の地 江戸川区

ムジナモは世界中に点在して生息しており、日本では1890年(明治23年)に、植物学者の牧野富太郎博士が、小岩村伊与田(現在の北小岩4丁目)の江戸川河川敷の湿地で発見しました。



名前の由来

「ムジナ(アナグマ)」のしっぽに似ていることから、牧野博士は「ムジナモ」と和名をつけました。



記念碑

発見100周年となる1990年に、小岩菖蒲園内に「ムジナモ発見の地」として記念碑が建てられました。



絶滅の危機

江戸川の水質の変化や、台風や洪水などでムジナモが流されたりするなどの自然環境の影響により、江戸川区内では現在野生では生息していません。絶滅危惧種に分類されています。



江戸川区ムジナモ保存会の取り組み

江戸川区にムジナモ自生地を復活させるため、保全活動や育成研究、啓発活動を2008年より続けています。

希少な食虫植物



ムジナモって知ってた?

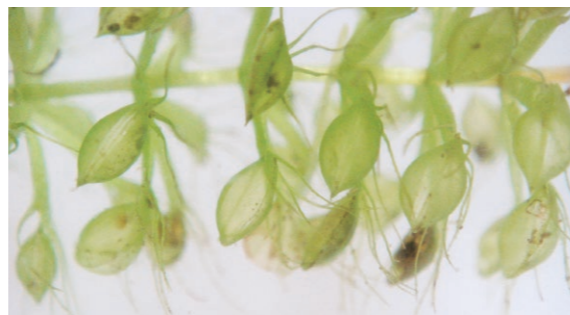
ムジナモとは?



ムジナモは水面に浮かぶ水草で、二枚貝のような葉で、ミジンコ等のプランクトンをとらえて捕食する、食虫植物です。夏季の日中に、ごくまれに1cm程の白い花を咲かせます。

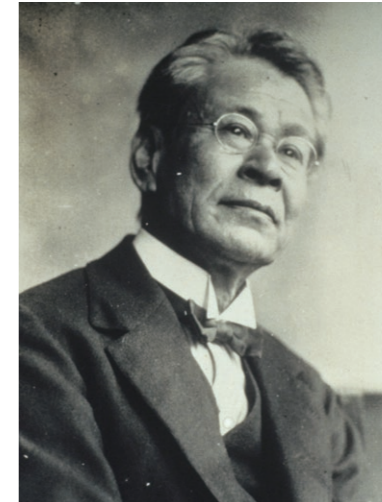


▲花



学名: *Aldrovanda vesiculosa*
和名: ムジナモ
分類: モウセンゴケ科ムジナモ属
大きさ: 6cm~25cm
レッドリスト(環境省2020): 絶滅危惧IA類(CR)*
*ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
◀葉の拡大

日本の植物学の父 牧野 富太郎



植物学者
牧野 富太郎
(1862~1957)

江戸時代末期の1862年4月24日に、現在の高知県に生まれました。独学で植物学を学び、2度目の上京の際に東京大学の植物学教室の出入りを許可され、研究に打ち込みました。

高知県立牧野植物園提供

牧野博士の主な功績



- 日本人として国内で初めて新種に学名をつけ、94年の生涯で、新種や新品種に学名をつけた数は1500以上でした。
- 日本各地を歩き植物を採取して、40万を超える標本を残しました。
- 植物の特徴と美しさを兼ね備えた緻密な植物図を、約1700種類も残しました。
- 様々な地方で講義等を行い、植物知識の教育普及活動に尽力し、集大成として「牧野日本植物図鑑」を出版しました。

牧野博士が作成したムジナモの植物図



高知県立牧野植物園所蔵



第2回 エコアクション講座

食虫植物ムジナモ見学会を実施しました!

8月17日(木) 埼玉県羽生市羽生水郷公園内の宝蔵寺沼ムジナモ自生地へ行きました。貴重なムジナモが自生しており、国の天然記念物に指定されています。

羽生市ムジナモ保存会副会長の福地秀夫さんからお話を伺い、間近でムジナモを観察することができました。参加された方より「貴重な話が聞けて勉強になった」「楽しかった」等のお声をいただきました。

羽生市
宝蔵寺沼へ!

